



焦谷直好夫人歌集

浦の

志月

貝拾遺

萬卷堂

九星閣

桃本

湯淺四郎氏寄贈

圖書印

54



A 9 1 1
7
1 - 2

Handwritten text in a cursive script, likely a form or document, written in a dark ink on aged paper. The text is organized into several horizontal lines within a rectangular border.

こころもいづれかよとめなうりし中世
ほろろお母をまきゆたふ海とにま
持もをた祭なとらぬたうり
おめろまこころいづれかよ
まよろははんらぬわ

景恒の巻のり子 陸奥介景恒

酒の味貝持建春の歌

古今内三十一

酒の味いづれかよとめなうりし中世
ほろろお母をまきゆたふ海とにま
持もをた祭なとらぬたうり
おめろまこころいづれかよ
まよろははんらぬわ

古今内三十一

酒の味いづれかよとめなうりし中世
ほろろお母をまきゆたふ海とにま
持もをた祭なとらぬたうり
おめろまこころいづれかよ
まよろははんらぬわ

古今内三十一

酒の味いづれかよとめなうりし中世
ほろろお母をまきゆたふ海とにま
持もをた祭なとらぬたうり
おめろまこころいづれかよ
まよろははんらぬわ

古今内三十一

酒の味いづれかよとめなうりし中世
ほろろお母をまきゆたふ海とにま
持もをた祭なとらぬたうり
おめろまこころいづれかよ
まよろははんらぬわ

古今内三十一

酒の味いづれかよとめなうりし中世
ほろろお母をまきゆたふ海とにま
持もをた祭なとらぬたうり
おめろまこころいづれかよ
まよろははんらぬわ

古今内三十一

酒の味いづれかよとめなうりし中世
ほろろお母をまきゆたふ海とにま
持もをた祭なとらぬたうり
おめろまこころいづれかよ
まよろははんらぬわ

古今内三十一

酒の味いづれかよとめなうりし中世
ほろろお母をまきゆたふ海とにま
持もをた祭なとらぬたうり
おめろまこころいづれかよ
まよろははんらぬわ

いろはのなすけがたのりんをもちのむいひのまかこん
ねたのまうくはまうのさたし物づくろひぬ物トも
所も山も物ゆはぬ物ゆはぬ物ゆはぬ物ゆはぬ物
かたれも物アありて物ゆはぬ物ゆはぬ物ゆはぬ物

折物

きよはてまてまてまてまてまてまてまてまてまて
うたひても本はひいりてまてまてまてまてまて

播磨物

人なはわいりてまてまてまてまてまてまてまて
中話の播の物ゆはぬ物ゆはぬ物ゆはぬ物ゆはぬ物

物あや衣

まうまひまひまひまひまひまひまひまひまひ

物あは箱

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

物あは水

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

夜月吉徳

わやゆひたすまてまてまてまてまてまてまて

まは物あは

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

まて本の物

わてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

物あは備行方

うたひまてまてまてまてまてまてまてまて

はは物あは

物あはまてまてまてまてまてまてまてまて

物

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

物あは

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

物あは

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

水あは物

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

遠付物

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

行は物

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

門物あは

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

物あは備割

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

まて物あは

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

物あは同

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

まて物あは

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

まて物あは

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

まて物あは

まてまてまてまてまてまてまてまてまてまて

まて物あは

なち〜
はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

はら〜
はら〜

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the page. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting. The document appears to be a formal record or a set of instructions, given the structured nature of the lines and the use of some larger, possibly decorative or significant, characters.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines. The script is consistent with the previous page, showing a high level of uniformity in the handwriting. The document continues to be a formal record or a set of instructions, with clear demarcations between lines and some larger characters that may indicate the start of new sections or important points.

二箇事

一、
二、

格下

一、
二、
三、

備後使行

五日馬

一、
二、
三、
四、
五、

日中

了由西

保中

五日馬

一、
二、
三、
四、
五、

格下

一、

備後

一、
二、
三、
四、
五、

備後

一、
二、
三、
四、
五、

備後

一、
二、
三、
四、
五、

格下

一、
二、
三、
四、
五、

格下

一、
二、
三、
四、
五、

格下

一、
二、
三、
四、
五、

格下

一、
二、
三、
四、
五、

格下

一、
二、
三、
四、
五、

月未水結

夏月

月未水結の月は、水が乾き、土が乾く。夏月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

五月

五月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

四月

四月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

三月

三月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

二月

二月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

一月

一月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

夏月

夏月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

五月

五月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

四月

四月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

三月

三月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

二月

二月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

一月

一月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

夏月

夏月、草木は繁茂する。人々は、暑さを避けて、涼しい場所を好む。...

浦乃多か見探連枝歌

立枝

浦乃多か見探連枝歌
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

初枝天

初枝天
初枝天

雨のころは雨雲は降りしれども雲は厚く霞も我れも
山雲はれようみさの雨方にも厚くもわたりて
おぼろしー望むはの雨とも雲しをほほく山雲下して
晴月ばまを物とともかす天の月もつたやうへさう
てらるる雲のちかちかめれも我れは秋さうさういふ
あうさういふ雲もももたひていふはまをこぼさ
おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう
待月

未去月

雲もさういふはあさあさりしつたさういふ雲も
おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

月出山

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

山月初昇

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

夜去月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

雙月入交

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

深夜月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

秋夜月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

對月詩寄

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

秋月散実

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

秋月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

七月十の夜は秋夜

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

九月二十日

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

12月

おぼろしうらなふもちかちかともさう人もたさう

廣文草紙

「しんじゆんまふ」のしんじゆんはたにんものまづ「しんじゆん
しんじゆん」をさす「しんじゆん」をさす「しんじゆん」をさす

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん「しんじゆん」のしんじゆん

定中

播磨の事

月夜時

格五

四格律

行名

格五

格五

秋人等

秋律

秋人

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

秋

心お

からけ

けり書

しんせき

書書

ねね

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

Handwritten text in cursive script, likely a list or index of items, corresponding to the labels on the left.

書書

用書

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

しんせき

Handwritten text in cursive script, likely a list or index of items, corresponding to the labels on the left.

...
...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...
...
...

...
...
...

...

...

...
...
...

...

...
...
...

...

...
...
...

...

...
...
...

...

...
...
...

...

...
...
...

...

...
...
...

清水丸

清水丸の船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

船名を記す

そこのぬねのころをよすしきりたすけし。けりしゆりゆりゆり

花

うまうまのけりしゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

は水屋

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

名は門

ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

かゝるこのおしよ

人こに四一ちあはれもはひもてあまきくぬりの入候はく
用しんあもははれもあまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

あまきくぬりの入候はく

しむしむけらうくくろくた極うつんふくくしやまん

人遊

人ちやう平たなうたうまきけしし月との遊こまねりて

節息

一の申のんあかりのこまなうのちをて日傾るまあ

春ま

けしけし一年の春もあかりけしけしなうまのんけし

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

あ

あつていふもあつていふもあつていふもあつていふも

此の書は、
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

神代卷の
神代卷の

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the page.

水水めし

ひふと上桃搦あし

大風女ゆいたまおとあまて獲る後とて

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

なほはらひいふおひりやうりやうり

愛 知 県



1103267967